

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成31年 4月 10日

仕事の内容	小・中学校施設維持管理事業					
担当部署・課長名	教育総務	課	施設	係	課長名	中橋 健

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	1 - 1	-
【施策名】 学校教育の充実	総合計画書 (ページ)	31	

予算名	款	10 教育費	項	2-3 小・中学校費	目	1 学校管理費	事業	1 小・中学校運営費
-----	---	--------	---	------------	---	---------	----	------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらかずもの(対象指標)
	市内全校	→小学校 10校、中学校 5校
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	② ②の状態になった数・量をあらかずもの(成果指標)
	安全で清潔な学校施設	→安全で清潔な学校施設の校数
③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)	
	①小・中学校施設の設備保守点検等の委託 1. 小荷物専用昇降機保守点検委託 2. 消防設備保守点検委託 3. 自家用電気工作物保安業務委託 4. 非常通報装置保守点検委託 5. プール循環装置保守点検委託 6. 熱風炉保守点検委託 7. 建築設備等定期検査委託 8. ばい煙量調査委託 9. 第二、第八小学校エレベーター保守点検委託 10. 冷房設備保守点検委託 11. 受水槽・高架水槽清掃及び点検委託 12. 簡易専用水道水質検査委託 ②小・中学校施設の清掃・施設警備等の委託 1. 施設清掃等及び便所清掃・尿石除去清掃委託 2. 施設管理委託 3. 機械警備委託 4. プール清掃委託 5. 樹木害虫駆除委託 6. 窓ガラス雨どい清掃委託 7. オイルタンク清掃点検委託 8. 受水槽・高架水槽清掃及び点検委託	→①及び②の全委託業務の実施

2 指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
	対象指標	①の数値	校	15	15	15	
	成果指標	②の数値	校	15	15	15	
	目 標	②の目標値	%			100	100
	目標値設定の考え方 市内全校を安全で清潔な施設とする。						
	活動指標	③の数値		21	20	20	

3 経費	事業費(実績)		円	128,617,556	127,773,432	132,433,136	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	128,617,556	127,773,432	132,433,136	
		特定財源	円				
		(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.0	1.0	1.0	
		所要人数(再任用)	人				
	職員人件費(再任用以外)	円	8,267,000	8,253,000	8,244,000		
	職員人件費(再任用)	円					
	事業費+人件費	円	136,884,556	136,026,432	140,677,136		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。
	学校設立時から事業を開始している。 建築基準法、消防法、電気事業法等の法令に基づき実施している事業や、施設の管理上必要な業務を実施している。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 学校用務員は平成8年度から3年間で段階的に民間委託をし、有人警備については、昭和55年度から夜間は機械警備に切り替えた。委託業務は平成31年度より公共施設等マネジメント課主導による、包括施設管理委託の導入が予定されている。

仕事の内容	小・中学校施設維持管理事業					
担当部署・課長名	教育総務	課	施設	係	課長名	中橋 健

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について トイレ環境の改善を求める意見を学校関係者からいただいている。 また、施設の老朽化に伴い設備点検を行うたびに、多数の不具合が発見される。 不具合の是正のためには多額の修繕料が必要となり、少ない予算をやりくりしながら是正を行っている。					
	6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）				
取り組みは無い		取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点						
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容 安定した委託業務の実施 →学校施設清掃及び便所清掃・尿石除去清掃業務委託などの清掃委託において、受託業者が複数の作業員を使用し、各校の清掃業務を実施するので、作業品質に差が見られることがある。					
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 各学校との連絡を密にとり、作業品質に問題があるようであれば積極的に報告をしてもらうようにした。 その後委託業者とやりとりをし、清掃方法等の改善策を協議し実践したことで作業品質改善が出来た。					
	(3)(2)を踏まえた今後の課題 平成31年度より包括施設管理業務委託の受託者が各清掃及び保守点検業者と対応にあたる。 よって、今まで市、学校及び各業者とで積み上げてきた成果を引き続き包括施設管理業務委託受託者にも引き継ぐ必要がある。					
	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） 包括施設管理業務委託の受託者に、市で積み上げてきた委託関係のノウハウを十分に伝達する必要がある。					
8 今後の方向性	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 伝達するには市側から積極的に情報提供する必要がある。決められた情報交換の場だけでなく、特に清掃では鹿島と現場に同行して何を基準に確認をしているか伝えていくことが良い。					
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。					
	成果	成果を向上させる。			経費	仕事の経費は維持する。